

保護者の皆様

令和6年度 学校生活アンケートの結果について

千葉市立瑞穂小学校

校長 鳥海 亮

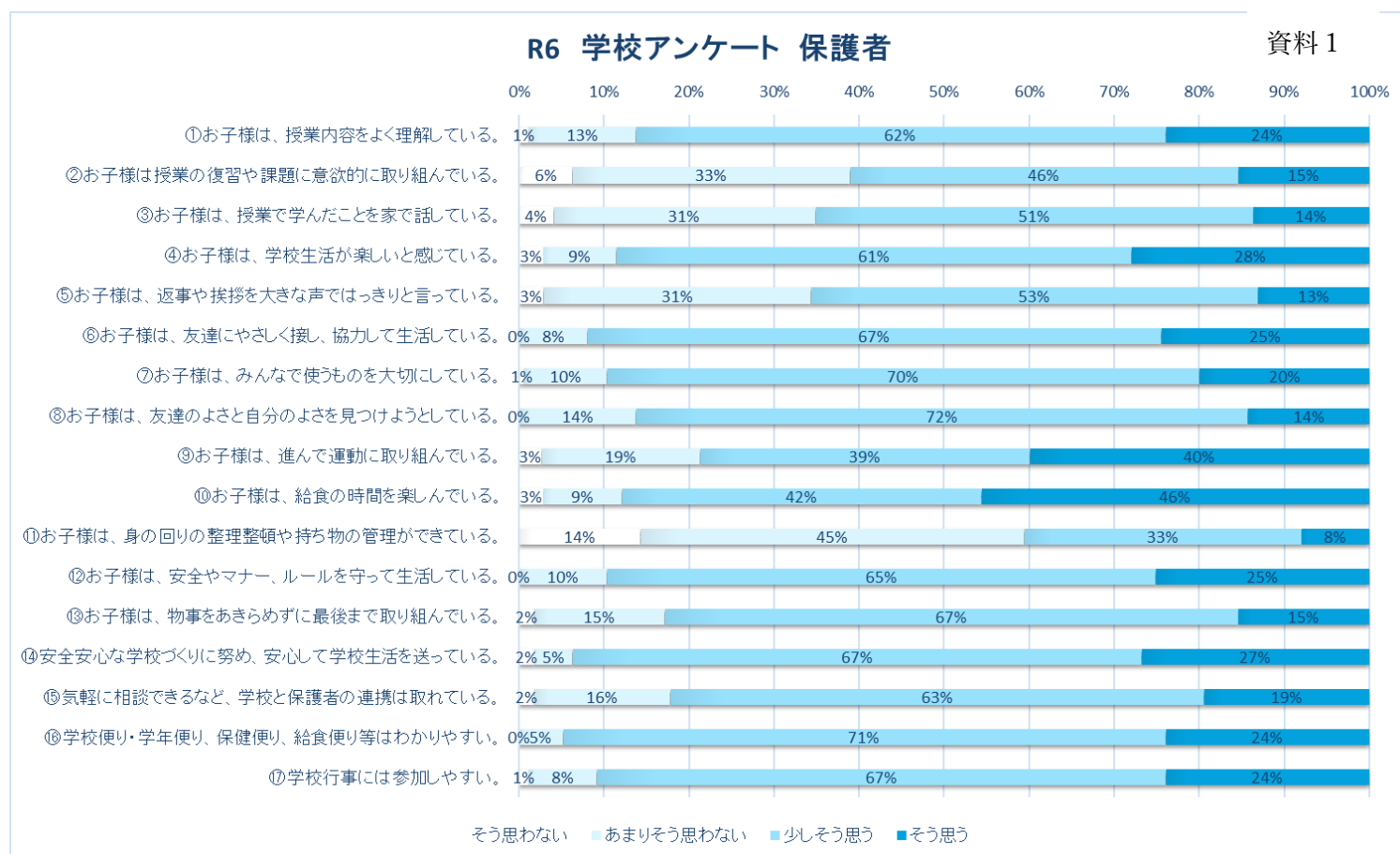
先日は、保護者アンケートへのご協力をいただき、ありがとうございました。4段階でご回答いただいたものをもとに、今年度の成果や課題をまとめましたので、報告させていただきます。

I 保護者の回答より (資料1 参照)

1「思う」「少し思う」の割合が大きかったもの(90%以上)

ア お子様は、友達にやさしく接し、協力して生活している。92%(平均 3.17)イ お子様は、みんなで使うものを大切にしている。90%(平均 3.09)ウ お子様は、安全やマナー、ルールを守って生活している。90%(平均 3.15)エ 学校は安全安心な学校づくりに努め、安心して学校生活を送っている。93%(平均 3.19)オ 学校便り・学年便り、保健便り、給食便り等はわかりやすい。95%(平均 3.19)カ 学校行事には参加しやすい。91%(平均 3.14)

2「思う」「少し思う」の割合が小さかったもの(70%以下)

ク お子様は授業の復習や課題に意欲的に取り組んでいる。61%(平均 2.70)ケ お子様は、学校で学んだことを家で話している。65%(平均 2.75)コ お子様は、返事や挨拶を大きな声ではっきり言っている。66%(平均 2.76)サ お子様は、身の回りの整理整頓や持ち物の管理ができています。41%(平均 2.34)

Ⅱ 自由記述より(一部抜粋)

1 良い点

- 授業で使う材料や生活科で汚れていい服装の連絡など期日に余裕をもって案内してくれるので、ありがたい。
- 夏休み明けのテストやカタカナの再テストの案内もしてくださるので、週末に親子で勉強してからテストに臨むことができ、子どもの自信になっているので、ありがたい。
- 校長先生が毎朝校門で挨拶してくださるお陰で、恥ずかしそうに小さい声で挨拶していた娘が、少しずつ挨拶できるようになった。新しい土地で楽しく学校に通えている。先生方には感謝の気持ちでいっぱい。
- 少し繊細な所があるので心配したが、毎日楽しく登校している。これも、先生方、クラスのお友達がとても良い雰囲気迎え入れてくれたからと感謝している。
- 家では甘えもあるので、学校での姿は違うかと思う。家では手伝ってほしいことも、学校では社会的に動いているのかと思いながらアンケートの回答をした。そんな風にやる気をだしてくれる学校には感謝でいっぱい。

2 要望 等

- 学校のトイレが臭いと感じる時がある。→令和5年度にトイレ改修工事を行い、トイレが新しくなりました。令和6年度は、大掃除の際に、みのりの会の方々に協力いただき、トイレ掃除をしていただきました。
- 共働きのため、平日の行事は予定の調整が難しい。→年度始めに年間行事をお伝えするだけでなく、今後も、1か月前を目途に手紙などを配信してまいります。急な変更につきましては、すぐ一斉等を通じてお伝えします。
- 持ち物を準備する際は、大きさ等もいっしょに知らせてもらえると準備しやすい。→学年便り等を通じて、今後もお伝えしてまいります。
- 給食のおかげで色々なものが食べられるようになり大変感謝しているが、リクエストや意見など伝える場があるのかを教えてください。→瑞穂小学校では、9月に児童に給食についてのアンケートを実施したり、児童のリクエスト給食を提供したりしています。引き続き、子どもたちが給食の時間を楽しめるよう工夫するとともに、栄養バランスのとれた給食を提供できるよう、努力してまいります。
- 連絡帳について→連絡帳については、多くの意見をいただきました。連絡帳が電子連絡板(ギガタブ)になったことで、今まで連絡帳を書くために費やしていた時間を学習など有効活用することができています。一方で、毎日の持ち帰りが重く負担に感じる、使用できる時間が限られている等のお声をいただいています。家で保護者の方と電子連絡板を確認するよう、学級指導するとともに、持ち帰りの荷物を工夫してまいります。ギガタブの軽量化については、千葉市全体の課題となっておりますので、教育委員会にも現状を伝えるようにしてまいります。

Ⅲ 分析・考察

多くの項目において概ね良好な回答をいただきました。特に、「保護者や地域とともに子どもを育む学校」の項目では「学校便り・学年便り、保健便り、給食便り等はわかりやすい」「学校は安全安心な学校づくりに努めている」「学校行事には参加しやすい」の項目で高評価をいただくことができました。今後も、保護者の方と密に連携を取りながら、安全安心な学校づくりに努めてまいります。今年度から、学校便り等多くの手紙をすぐ一斉で配信しております。学校便りにつきましては、紙面での配付を希望される方もいらっしゃいますので、校内のチラシ配架コーナーに置くようにします。

「友達にやさしく接し、協力して生活している。」に関しては、学級だけでなく、瑞穂小学校の特色の一つでもある「なかよし活動」などの異学年交流や近接学年で行う学習を通じて「思いやり」の気持ちを育むことができたと感じています。また、「安全やマナー、ルールを守って生活している。」「みんなで使うものを大切にしている。」では、学校のルールを守ること、みんなが気持ちよく学校生活を送ることができており、日々子どもたちの成長を感じます。

一方、肯定的評価が低い項目としては、「家庭で復習や課題に意欲的に取り組む」「学校で学習したことを家で話す」「返事や挨拶を大きな声ではっきり言う」「身の回りの整理整頓や持ち物の管理ができています。」が挙げられます。前年度も肯定的評価が低い項目として挙げられており、瑞穂小学校での課題と捉えています。整理整頓の仕方を繰り返し指導してだけでなく、習慣化できるよう、今後も指導にまいります。また、今回のアンケートを通じて保護者の方々よりいただいたご意見につきまして、真摯に受け止め、改善策を教職員みんなで考え、よりよい学校を作っていきたいと考えています。

令和6年度、保護の皆様には、たくさんのご支援とご協力をいただいたことに、心から感謝しております。今後とも、温かいご支援とご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

Ⅲ 児童（学校生活アンケート）、教職員（学校評価アンケート）の回答より（資料2、資料3 参照）

1 児童の自己評価の高い回答（「そう思う」「少しそう思う」と自信をもって回答した内容）

- ・みんなで使うものを大切にしている。(94%) (平均 3.40) 【教職員 80%】
- ・友達に優しく、協力している。(91%) (平均 3.51) 【教職員 95%】
- ・学校の勉強はよくわかる。(90%) (平均 3.32) 【教職員 90%】

2 児童の「そう思う」「少しそう思う」の回答の割合が低いもの（70%以下）

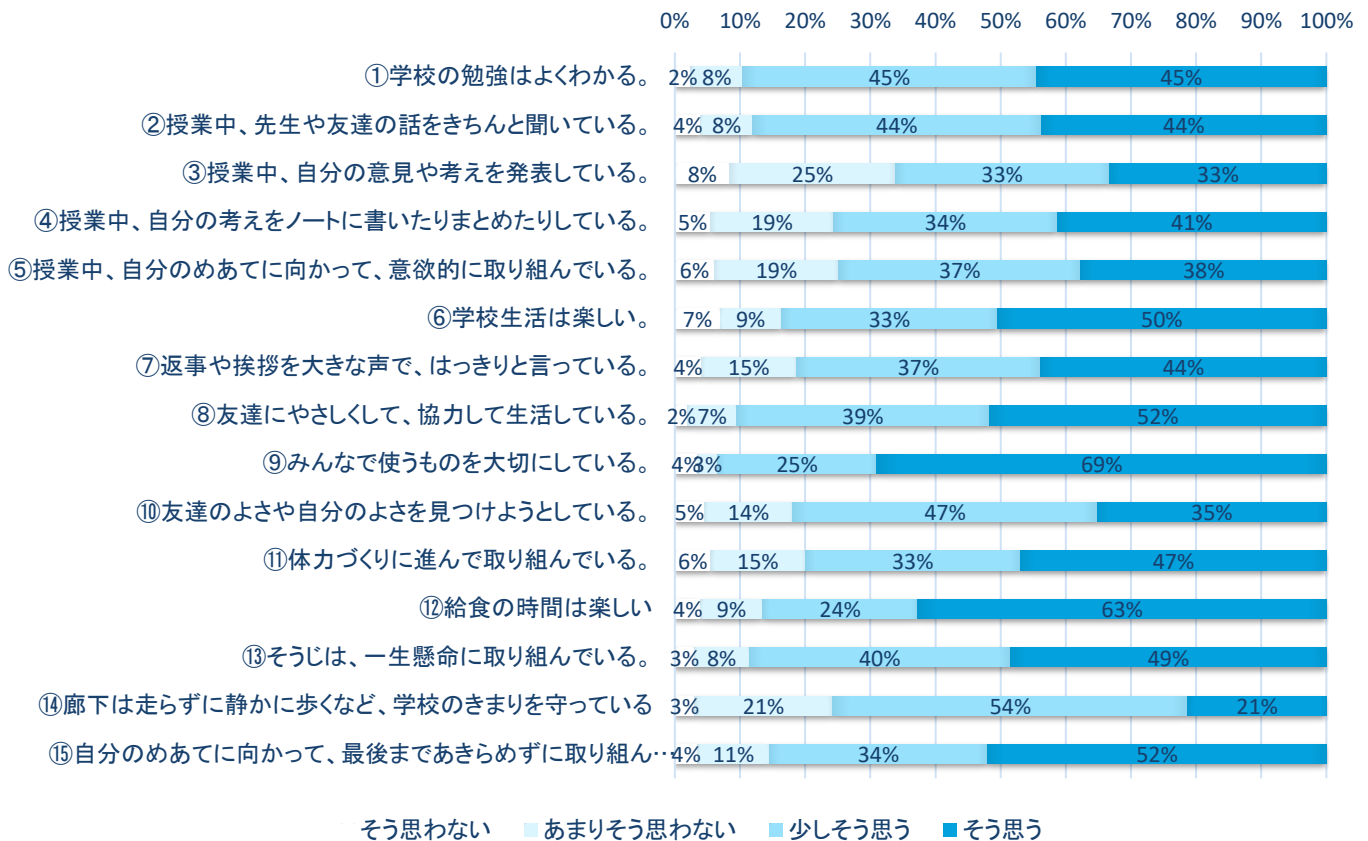
- ・授業中、自分の意見や考えを発表している。66% 【教職員 85%】

「授業内容をよく理解している」が、保護者 86%、児童 90%、教職員 90%に対し、「自分の意見や考えを発表している」は、児童 66%、教職員 85%となっております。授業を理解していても、主体的に自分の意見を発表することには、苦手意識をもっているようですが、昨年度に比べ、「授業中、自分の考えをノートに書いたりまとめたりしている。」は、良好な結果となっております。ノートだけでなくギガタブ等を活用したことで自分の考えをもてるようになってきていると感じております。

子どもたちが自信をもって発表できるよう、引き続き、授業改善に努め、日々実践してまいります。

R6 学校生活アンケート 全校児童

資料 2



R6 学校アンケート 職員

資料 3

